

議 事 録

会議名	令和5年度川西市総合教育会議(第9回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年12月25日(月) 10時00分から11時00分		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、佐々木委員、治部委員、倉見委員	
	関係職員	岡本市民環境部長、山元こども未来部長、中西教育推進部長、福本理事 飯田企画財政部副部長、人見市民環境部副部長、藪内市民環境部副部長、岡本こども未来部副部長、井上こども未来部副部長、岩脇教育推進部副部長、上西教育推進部副部長、下内教育推進部副部長	
	事務局	企画財政部政策創造課 稲治課長、松永課長補佐、上田主任	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 教育大綱の策定について (2) 報告事項について ・部活動の社会移行について (3) その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>それではただ今より、令和5年度第9回川西市総合教育会議を開会します。議事に入る前に、事務局より報告をします。</p> <p style="text-align: center;">【事務局より総合教育会議について説明】</p>
市長	<p>まず、「(1)教育大綱の策定について」を議題としたいと思います。内容について事務局から説明を申し上げます。事務局よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【事務局より教育大綱について説明】</p>
市長	<p>市議会からの意見については賛否が分かれるというのではなく、表現の修正についての意見が多くありました。現在お示ししている川西市教育大綱(案)から文言や表現の修正を趣旨が変わらない範囲で行いたいと思っております。</p> <p>パブリックコメントについても44人、計110件きており、パブリックコメントを実施した計画の中で一番多く意見がありました。教員の働き方、部活動についての意見が多く寄せられていました。一部、市が進めている施策に対してご批判的な意見もありましたが、こう改善して欲しいといった前向きな意見もありました。</p> <p>事務局からの説明で気になる点等あればご質問いただければと思います。</p>
坂本委員	<p>社会に参画するという表現について、人間は人材じゃないということは地域でも聞かれることであり、もう一度どのような形にするのか説明をしていただきたいです。</p>
事務局	<p>社会に参画するという表現についてです。本大綱においては、自ら社会に参画することを後押しすることを示しており、市のために、国のための人材を育てるという意味合いで記載しておりませんので、そういった説明を行ってまいります。</p>
坂本委員	<p>言葉の解釈はそれぞれ異なったりするため、丁寧な説明をお願いしたいと思います。</p>
治部委員	<p>私立園所の個性の尊重についても一度説明をお聞かせください。私立園所の運営事業者側の個性の尊重、そこに通う子ども達の個性の尊重という、双方への配慮の意味合いが含まれていると思いますが、それ以外に運営事業者側の運営に関するリスク管理の側面はありましたか。</p>
事務局	<p>私立園所の教育方針はもちろん、リスクについても包括した形で考えていく必要があると思っております。</p>
治部委員	<p>インクルーシブ教育についてどんな意見があったのかお聞かせください。共生社会という理念についての賛否両論なのか、それとも、理念は受け入れられるが、その具体的な方法論に疑問があるのか教えてください。</p>
事務局	<p>インクルーシブ教育についてです。市民意見から多くの意見をいただきました。具体的な意見として教育大綱に記載のあるインクルーシブ教育に賛成であるという意見が多くありました。</p>

発言者	発言内容等
佐々木委員	<p>一方で表現については気をつけた方が良いという意見もありました。</p> <p>基本姿勢の部分で国際化、グローバルな視点を盛り込んだ方が良いという意見について、その通りだと思います。建て付けとして、基本姿勢にグローバルな視点を入れることにより、基本方針などにも影響が出る追記になるのではと気になりました。</p>
事務局	<p>基本姿勢におきましては、自ら社会に参画するという記載の部分に国際化のエッセンスを盛り込む予定としております。この基本姿勢を踏まえて基本方針を謳っていきますが、基本方針は重点的な施策を記載しているところになるため、影響はないと考えております。</p>
倉見委員	<p>一つは主な意見を拝見して、公教育と社会参画、インクルーシブ教育という言葉は我々は違和感なく使用していますが、市議会、市民ともに意見として出てきているため、その使用については気を配る必要があると思われました。</p> <p>学び直しについては学校教育に限らないため生涯教育ではという意見はその通りだと思ひ、具体的にどういったことを想定しているのか質問させていただきます。</p> <p>また、市議会意見やパブリックコメントを受けて追加、変更、修正を行う箇所についての整理をもう一度お願いしたいです。</p>
教育長	<p>学び直しについてはいろんな意味を包括していますが、今回はリカレント教育、リスキリングなどの意味合いを想定して生涯教育ではという意見が出ていると思います。学校教育における学び直しについては一斉授業についていけない子ども達の学習支援と考えています。一定の評価いただいています校内サポートルームや学びのスペースなど、学びの多様性を検討していく必要があります。自分なりの学びができる空間があっても良いのではと考えています。</p>
事務局	<p>教育大綱の変更予定箇所について説明いたします。P2 基本姿勢の「質の高い」という言葉に脚注で説明を追加します。国際化の視点についても追記を検討しております。「変化に対応するために」という部分については「社会情勢」という言葉を追記します。</p> <p>P4 学校教育ア③「黒川地区の里山など」については歴史の内容として「加茂遺跡」を追記します。学校教育ウ③「自律」という言葉の説明を脚注に追加する予定です。</p> <p>最後に P6 生涯学習ア②「連鎖」という表現については「つながる」という表現への変更を予定しております。</p>
市長	<p>人材を育てるということについては、国の教育振興基本計画でもあるように教育からは外せない要素であり、市にとって都合の良い人材を育てるという意味ではなく、主体的に取り組んでいただく人材を育てるという意味合いとしています。</p> <p>国際化、グローバル化の観点を入れることによる大きな体系の変化は無いと思っており、今は我々が外に出て行くだけではなく、外国の方を受入れている状況で、これらは多文化共生という考えの中に包含されているという認識をもっています。</p> <p>インクルーシブに関しては、交流するか個別に対応するかという手法の話ではなく、一人ひとりの個別最適な学びが何かという観点が重要であると思っています。保護者や子どもの意向、学校現場と話をしながら考えて行くものだと思います。</p> <p>私立園所には、市としてここは守って欲しいというところは適切にサポートしていきますが、それぞれ園所ごとに特色があるので、引き続き協働していきたいと思っています。</p>

発言者	発言内容等
教育長	<p>パブリックコメントの意見数が多いということは、教育への関心が高いということであり、改めて教育委員会の重要性を認識したところです。教育大綱は大きな理念や方針を示したのですが、寄せられた意見は具体的な施策、内容に触れているものが多いため、今後、具体的な施策をどう進めていくのかを問われていると思っています、</p>
市長	<p>市議会から児童生徒との意見交流会の話がどう反映されているのかという意見もありましたが、具体的な内容を反映するのではなく、出てきたキーワード「主体性」、「多様性」、「選択肢」などエッセンスに教育大綱を策定しました。</p> <p>さまざまな自治体の教育大綱の策定のプロセスを見ておりますが、ここまで教育委員の皆さんが子どもや地域とディスカッションして一緒に策定したものは少ないと思います。</p>
市長	<p>次に、「(2)報告事項について」のうち「部活動の社会移行」を議題としたいと思います。議題について教育委員会より説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>【教育委員会より部活動の社会移行について説明】</p>
市長	<p>部活動の社会移行は大きなテーマになっており、川西市としては受け皿を作っていくことが重要で、令和8年度から完全に移行していくため準備が必要な状況です。現在、教員が顧問をしている状況を社会や地域の方に移行していくそういった形で動いています。</p>
教育長	<p>4会場で説明を行い、疑問はありましたが理解はいただいたと思っています。部活動の意義は子どもにとっても教員にとっても大きな体験であったと思っています。部活は全体としての制度設計が曖昧なまま、教職員のボランティアに頼って進んでいたということを理解いただいたと思っています。これから多くの担い手が出てきてくれることを期待しています。子ども達が任意で参加ができる体制が重要であると思っています。</p>
坂本委員	<p>部活が続くことを望んでいますが、教員の方が非常に大変であるのは保護者も理解しています。社会移行の結果、教員が生徒達と向き合う時間が増え、生徒に還元されることになると思います。生徒の多様性、ニーズを果たせる社会移行になることを望んでいます。</p>
佐々木委員	<p>部活の制度設計を整理していくことは良いことだと思います。社会移行の過程で生徒に不利益が無いように進めていければ良いと思います。</p>
教育長	<p>子ども達が多様な取組み、体験ができるようにしたいと思っていますので、ご意見やご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。</p>
市長	<p>部活動の社会移行については以上とさせていただきます。最後に「(3)その他」につきまして何かご意見はございませんでしょうか。</p> <p>無いようですので、以上をもちまして令和5年度第9回総合教育会議を閉会いたします。</p>